



## 熊本県工業の現状と今後の展望

初めての工業製品展

まず、本県の工業の現状はどうなっているのか、またどのように移り変わってきたかといったことからみてみましょう。昭和五十四年の工業統計によりまずと、事業所数五千六百八十六、従業者数

### 本県工業の現況と推移

九万九千三百二十七人、出荷額一兆九百六十六億となっています。これを昭和四十五年と比べますと事業所数で八〇、従業者数で二二、出荷額で四倍の増加となっています。事業所数は、減ったり増

はじめに  
熊本県の工業を全国各都道府県と比べてみますと、事業所（一般に工場、製作所、製造所あるいは加工所などと呼ばれるところをいいます。）数で三十一位、年間製造品出荷額で三十二位となっています。これは、昭和五十四年の工業統計調査の結果です。  
大雑ばにいうと熊本県の工業は、全国順位で三分の二位のところに位置しているわけです。  
一方、熊本県の工業が県内産業に占める割合を昭和五十年国勢調査及び昭和五十三年県民所得統計でみてみますと、就業者数で二・八〇、純生産で二・二〇となつています。  
ちなみに農業をみますと、就業者数で二・六〇、純生産で九・六〇となつています。

また、雇用状況をみると、昭和五十五年三月の高卒就職者は、九千五百五十一人で、そのうち県内就職者が六千二百五人、県外が三千二百二十六人となつており、特に男子高卒は、四五〇が県外に就職している状況です。  
県外に就職する原因は、大都会へのあこがれや親元を離れ独立したいといったものもあるでしょうが、なんといいても適当な職場が県内に少ないというのが大きな原因だと思われまふ。  
このようなことから考えますと、県内に、もっと働く場所を創り出し、所得をあげていく必要があると思うのです。そのためにも熊本県の工業を盛んにしていくことが大事だと考えます。  
では、どのように熊本県の工業を振興していくか、これには大変難しい問題が沢山あるのですが、本県工業の現状をみながら考えていきたいと思います。



障害者グループのバンド演奏

めな身体障害者療護施設及び精神薄弱者更生施設（重度棟）については、地域性を考慮しながら、計画的に整備します。  
。 自宅で待機中の精神薄弱者約五百人の入所を促進するため、精神薄弱者更生施設及び授産施設を計画的に整備します。  
。 心身障害者福祉施設体系のなかで、職業訓練及び社会復帰の分野を分担する心身障害者総合福祉施設を下益城郡松橋町の県有地（約一一二、六〇〇㎡）に建設します。中心施設として重度身体障害者授産施設及び福祉工場を配置し、施設と地域との交流を図り、施設の閉鎖性を除去するために、公営住宅、スポーツ、レクリエーション施設等を付設する計画で、現在、昭和五十六年九月の開所を目指して定数五十人の重度身体障害者授産施設を建設中であり心身障害者のための福祉地域としての整備をすすめます。  
。 難聴児を家庭から施設に通所させて、母親等の保護者との密接な連絡のもとで、できるだけ早期に適切な「聞こえの訓練」、「言語訓練」、「補聴器装用訓練」を行うことにより、残存能力の開発を図り、正常な発達を促進するために、熊本県身体障害

者リハビリテーションセンターの一角に定数三十人の難聴幼児通園施設を昭和五十六年四月に開所します。  
ボランティアの養成  
障害者のためのボランティアの養成を図り、障害者の社会参加を促進します。  
福祉従事者の資質の向上  
県下各地で障害者福祉に従事する福祉事務所、市町村の担当職員、身障、戦傷、精薄者相談員等に対する研修を充実し、資質の向上を図ります。  
。 おわりに、この社会の中には、男がおり女がいる、肥えた人がおりのやせた人がいる、年寄りがおりの若者がいるとおなじように健康な人もいれば病気のその他障害をもった人もいるのは当然であり、障害者なるが故に別に扱われることは不自然であり正常な社会あるいは健全な社会とはいわれません。いわゆるノーマライゼーションが国際障害者年の基本理念であり、今後の障害者対策のあり方を示しています。  
。 障害者の完全参加と平等の実現のためには、今年の国際障害者年を契機として、障害者に対して思いやりのある、温かい地域社会を皆んなで築いて行くことが必要です。  
（障害福祉課）

効果的な援護対策を確立するため、次の事項を重点に推進します。  
総合的な福祉施設の整備  
障害者の福祉施策は、地域住民の理解のもとに、各地域において生きがいを深め、生活を営んでいく「在宅福祉」に焦点があてられてきています。

しかしながら、自宅において常時介護を必要とするが介護者がいない者、身障自立や職業の訓練を必要とする者は、施設入所をすすめる福祉対策を必要とします。  
。 リハビリの効果も期待できず、常時介護を必要とする重症心身障害者のた